

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ウキウキはなさく荻野西第1教室		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 27日		~ 2025年 12月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2025年 11月 27日		~ 2025年 12月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援計画の内容に沿って支援を行っている。	支援計画作成時、当該児童への理解を深めたうえで保護者様への説明が出来ている。	日々の関わりの中で、変化や成長など小さな気づきでも保護者様と共有していく。
2	利用児が前向きに来所する事が出来ている。	事もが主体的に取り組めるように療育を展開し、嫌がる事はしなくていい事をお伝えしている。好きな事、得意な事の成長を育む療育を展開している。	怒らない支援を前提に、まずははなさくという空間を楽しんでいただけるように、環境整備に努めていく。

公表

事業所における自己評価総括表

3	子どもに合わせた療育、環境整備に努めている。	利用児が安全に過ごせるように、クッション材を床に敷く、飛び出し防止用の柵があるなどの環境面の配慮や、人員補充が必要な場合は、同事業所より確保することが出来る事が強みである。	ヒヤリハットや事故報告書を通じて、危険個所をなくしていく。また、児や保護者様の意見に耳を傾けて改善点を見出していく。
---	------------------------	--	--

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部との関わりが希薄である。他事業所や、相談支援所等社会資源の活用が出来ていない。	事業所内で物事を完結している。社会資源の有効的な活用方法を見出していない。	積極的に外部との関わりを持つために、利用児と関わる機関と連携する。情報共有を行う事で、より良い支援を提供していく。
2	利用児の保護者同士の関わりがない。	保護者参加型のイベントが少ない。	保護者参加型のイベントを増やす、又は説明会やイベントの中で、保護者様同士が話し合う機会を作る。
3	地域に開かれた事業運営ができていない。	児の個人情報や保護者様の意向がそれぞれ違うのでイベントの実施など、外部の物を招き入れる事が難しい。	イベントなどではなく、地域の清掃や日々のあいさつなどを通じ、地域の一員としての振る舞いを心がけていく。